

かまぼこ



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

- 私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
- 私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
- 私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

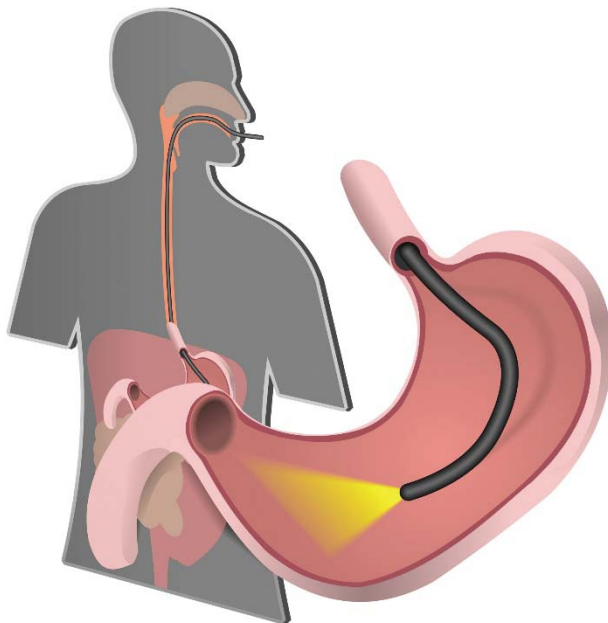
〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/>

拡大内視鏡について



内科医師 清水 大樹

拡大内視鏡（拡大観察機能付き内視鏡）とは、内視鏡の先端にズーム機能をもつカメラがあり、「通常の内視鏡画像よりも約80倍まで消化管粘膜を拡大して観察する機能をもつ内視鏡」のことを言います。通常の内視鏡検査よりも粘膜の表面を詳しく観察できることから、癌などの病変の早期発見・早期治療に役立つことが報告されています。



たとえば、内視鏡検査中にポリープや潰瘍などの病変を発見した場合、その病変が腫瘍なのか、腫瘍ではないのか（炎症）、また腫瘍の場合は良性なのか悪性なのか、悪性であれば内視鏡で治療できるものか、外科手術が必要な病変かどうかの判断を行う必要があります。

通常の内視鏡検査においても、病変の大きさや形状、粘膜の色調や性状などの観察を行います。時に診断に難渋することがあります。その際、拡大観察機能を備えた内視鏡を使用し、病

変の微細な血管や粘膜構造を拡大観察して評価することで正確な診断に近づくことが可能となり、最も適切な治療法を選択するための補助を行うことが可能になります。

近年、医療費の削減や医療の効率化が重要視されており、病変の早期発見・早期治療を目指した内視鏡検査が注目を集めています。特に、拡大観察機能付き内視鏡は、約80倍の倍率で粘膜の表面などを詳細に観察できることから、微細な病変の早期発見が期待されており、国内では拡大内視鏡を用いた狭帯域光観察（NBI）が「狭帯域光強調加算」として、平成22年度より保険適用されています。

現在、拡大内視鏡は、食道病変の存在診断・量的診断、胃癌の組織型予測・範囲診断など、消化管のほぼすべての領域における有用性が報告され、全国的に広く普及するようになってきています。公立羽咋病院でも、2016年よりOLYMPUS社製の拡大内視鏡「GIF-H290Z」（上部消化管汎用ビデオスコープ）を導入し、上部消化管病変の早期発見に努めています。

羽咋警察署が反射材配布



11月9日（水）、羽咋警察署の小竹交通課長、県交通課企画規制係長、羽咋警察署マスコットキャラクター「ハク太郎」君の3人が、正面玄関で反射材を配布し、来院された方々へ交通安全を呼びかけました。

配布された反射材は、靴のかかと部分に貼って使用するタイプで、反射材の啓発チラシと入浴剤も一緒に配られ、「ハク太郎」君と握手をされる方や記念写真を撮られる方もおられました。

夜間に歩行者や自転車利用者が、反射材を身につけることで、暗い夜道でも自動車等のドライバーに、遠くから自分の存在をいち早く知らせることができ、交通事故の防止につながるということです。

今回の配布を機会にこれからは、交通事故を防ぐのに大変効果的である反射材が、子供から高齢者まで全ての年代に普及して、交通事故により犠牲になられる方々が1人でも減少してほしいです。

総務課 総括主幹 岡嶋 克己



ICT研修会 感染防止対策 おむつ交換の実際



11月10日(木)、11月14日(月)の両日、ICT定期研修会を開催しました。例年、当院のICT（感染対策チーム）では、院内外の医療・介護職員を対象に感染対策研修会をおこなっています。

平成28年度は、「おむつ交換の実際、確実に排泄物を処理するためには」を開催しました。

超高齢化社会を迎え、介護依存度の高い患者さんが増え、おむつ交換は日々の看護ケアの中で必須項目となっています。おむつ交換で排泄物を取り扱う際に、適切に行わなければ医療従事者の手を介して感染の拡大をしてしまう危険性があります。そこで、おむつ交換の実践を通して、排泄物を取り扱う際に必要な標準予防策の徹底（手指衛生の遵守・个人防护具の装着）、汚染されたおむつをゴミ袋に適切に入れる方法を研修しました。

また、模擬排泄物の中に蛍光塗料を入れ、洗浄時の飛び散りが視覚を通して認識できるような取り組みも行いました。研修会に参加された方からは、「現場に帰って早速手順の見直しをします。」「手袋の着脱のタイミングって大切ですね。」との感想がよせられました。

現場で実践している看護援助を通し研修会を行うことで、より身近に感じ感染防止対策の大切さが認識できたように思います。

ICT 主任看護師 品川 さおり

行事紹介

平成28年度 火災総合訓練を終えて

去る、11月22日（土）に火災総合訓練を行いました。今回の訓練実施にあたり、地域の方々と『顔の見える関係』を築き上げていきたいという強い思いから、各方面へ訓練参加をお願いしたところ、「的場町会」「特別養護老人ホーム眉丈園」「国際医療福祉専門学校七尾校」「羽咋消防署」から多数の方々の参加協力をいただきました。当院の職員を含めて約130人で、総合という名にふさわしい火災訓練を実施することができました。

主な訓練内容は、火災発生時の初動対応と患者さんの避難誘導であり、参加者それぞれが担当業務を持って訓練に臨みました。「的場町会」は避難所設置と患者誘導、「特別養護老人ホーム眉丈園」は眉丈園内に設置された避難所への担送患者の受入、「国際医療福祉専門学校七尾校」の学生15名は模擬患者役、「羽咋消防署」は訓練全体の講評を担当していただきました。

地域の方々との繋がりは、火災ばかりでなく地震・津波などもしもの時！の大きな力となります。今後もこのような機会を通して、『顔の見える関係』を築き上げていきたいと思っています。

最後に、お忙しい中、訓練に参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

副院長兼MEセンター長 荒井 謙一

羽咋病院の火災総合訓練に参加して

昨年「災害時における相互支援協定」を締結したことから、平常時における体制づくりの一環として、今回初めて火災総合訓練に参加させて頂きました。入院患者(学生代役)を、眉丈園内に設置した救護所までストレッチャーで搬送するという役割でした。

支援要請の連絡を受け2名で病院前に駆け付けましたが、指示があるまで動くことができず少し戸惑いました。その後担当職員から指示があり、活動を開始しました。しかし眉丈園に設置した救護所は狭く、ストレッチャーからベッドへの移乗に時間がかかってしまったことは今後の課題となりました。病院内では職員の皆さんの役割分担が明確になっており、迅速に活動している姿が印象的でした。

最後に今回の訓練に参加して思ったことは、火災に限らず、地震や津波などの自然災害が発生した時や、夜間や荒天時などでも双方がスムーズに対処できるよう平常時から体制づくりが大切だと感じました。

また、施設単位では限界があり今回のように町会との連携と協力が大切だと改めて強く思いました。

特別養護老人ホーム
眉丈園 中橋 慎一



眉丈園救護所



災害対策本部



患者搬送



救護所・一時避難所



患者搬送



的場町会の方々

DMATとは？

DMATとは、「医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム」とされており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT（ディーマツト）と呼ばれています。

羽咋病院DMATは平成25年9月に発足し、現在は医師1名、看護師3名、業務調整員1名の5名の隊員で活動を行っています。

一人でも多くの命を助けよう

4月14日に熊本県で発生した最大震度7の地震の時は、石川県庁からの要請を受け、被災地での救護活動に向けて出動準備を行っていましたが、DMATの活動支援は中止となり、隊員たちは「一人でも多くの命を助けよう」と心に秘めた使命感を抑えることとなりました。未だ復興が続いている被災者の方々の生活とお気持ちが少しでも向上するように心よりお祈りしております。

日頃は病院内における防災訓練や災害トリアージ訓練の企画開催に努めています。また羽咋市や石川県が主催する総合防災訓練にも参加し、いつ災害や大事故が起ころうと対応できるように自己研鑽に努めています。

各地で地震や噴火、大規模事故など様々な災害が起こっていますが、羽咋病院DMATはこれからも日々訓練を重ね、地域の住民を守る災害拠点病院として適切な対応ができるよう努力していきます。

中央材料室・手術室 主任看護師 日下 和哉



隊員集合



訓練の様子

のと里山海道事故の実践報告

10月8日、のと里山海道の事故から約3ヶ月が経ちます。今尚事故の報道を耳にすると当日の事を思い出します。

朝7時すぎ病院から連絡があり、すぐに車を走らせました。病院到着後は消防隊からの連絡を受けながら、外来診療が始まる時間帯の中で、傷病者10名を受け入れる事に不安を感じつつ、人員確保を優先に動きました。トリアージ訓練には参加していましたが、突然の事で自分の役割が分からなくなり戸惑いました。しかし、スタッフ全員で協力し対応することができました。

今後も訓練への参加を重ね、自分も含めスタッフ全員が自身の役割を理解し迅速に実践できるようにすることが必要と感じました。

外来看護師長 山本 加奈子

やすらぎコンサート



12月15日（木）、平成28年最後のやすらぎコンサートが開催されました。毎年この時期は、羽咋白百合幼稚園の年長園児さんを招いて、ハンドベルを演奏してもらっています。今回も、16人のかわいい園児さんたちが、「いつくしみ深き」や「星に願いを」など、クリスマスにちなんだ曲を演奏・合唱してくれました。

ハンドベルの音色は優しく、園児さんの歌声は元気いっぱい、本当に楽しい時間を過ごすことができました。患者さんの中には大きな拍手を送る方、「ありがとう！」と気持ちを表現される方がいらっしゃって、思い思いに楽しんでいる様子うかがえました。

医療サービス推進室 社会福祉士 井上 麻有子



ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若草会の皆様
- ♥ 園児の絵 千里浜保育所・羽咋白百合幼稚園
- ♥ 絵画3点 網 登與次様
- ♥ 額入り空撮写真 きくや写真館様



いきいき健康づくり教室 予定

♪どなたでも参加できます♪

コレステロール・あぶらで血がドロドロ

開催予定日: 2/1(水)、3/1(水)、4/5(水)

第1水曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士、理学療法士

高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日: 2/20(月)、4/17(月)

第3月曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士

ねたきりにはならない!

開催予定日: 2/22(水)、3/22(水)、4/26(水)

第4水曜日 15:00~

場所: 2階病棟 食堂談話室

整形外科医師、作業療法士、管理栄養士